

同時資料配布先:

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2024年12月5日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

革新的CO₂分離回収・有効利用技術シンポジウム
～ 地球温暖化防止に貢献するCO₂分離回収・利用技術の最新動向 ～
開催について

公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)は、2025年2月5日(水)に伊藤謝恩ホールにおいて「革新的CO₂分離回収・有効利用技術シンポジウム」を開催します。

本シンポジウムでは、経済産業省燃料環境適合利用推進課 CCS 政策室の慶野室長に我が国の CCS 政策に関して基調講演いただいた後、大阪ガス(株)から先進的なメタネーション技術を実証する取り組みに関して、また(株)デンソーから CO₂ 回収・利用技術に関してそれぞれご講演いただきます。また RITE が取り組んでいる CO₂ 分離回収・有効利用技術の開発状況について報告します。国内 CO₂ 分離素材開発者にご利用いただく「RITE 炭素回収技術評価センター(実ガス試験センター)」についても報告します。

会場と web 配信のハイブリッド方式で開催し、会場では、来場いただく多くの皆様と RITE 研究者との直接のコンタクトの機会としてポスターセッションを行います。会場へお越しいただき、web では得られない積極的な情報収集、活発な意見交換が実れば幸いです。

CCS 事業法の現状、CCU 実践に向けた最前線、RITE の取り組みなどにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしています。

1. 開催趣旨

CCS ロードマップ(二酸化炭素の年間貯留目標 2030 年 600～1200 万トン/年、2050 年 1 億 2000 万～2 億 4000 万トン/年)の実現へ向け、2024 年 5 月に企業の事業化を促進する CCS 事業法が制定されました。今後、民間各社による CCS 事業化が加速していくと予想されます。二酸化炭素有効利用(CCU)においても 2023 年 6 月に「カーボンリサイクルロードマップ」が制定され、技術開発・事業化推進が着実に進んでいます。また、グリーンイノベーション基金事業の開始から 4 年が経過し、2050 年カーボンニュートラル目標に向けた様々な新技術の開発および社会実装へ向けた取り組みが着実に進んでいます。

こうした状況の下、本シンポジウムでは、CCS 政策・CCU 事業化・技術開発の現場の最前線でご活躍の官界・産業界の有識者をお呼びしご講演いただきます。また、RITE から活動内容について報告させていただき、RITE の研究開発を皆様へお伝えします。

2. 開催概要

日時: 2025 年 2 月 5 日(水)13 時～17 時 30 分

会場: 東京大学 伊藤国際学術センター B2F 伊藤謝恩ホール

開催形式: ハイブリッド形式(会場での講演を web 配信)

定員: 会場(300 名)、web(1500 名)

参加料: 無料

主催: (公財)地球環境産業技術研究機構

共催: 経済産業省、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、次世代型膜モジュール技術研究組合
(組合員:住友化学(株)、(公財)地球環境産業技術研究機構)

後援: 日本 CCS 調査(株)【申請中】、Global CCS Institute、(公社)新化学技術推進協会、(公社)2025 年日本国際博覧会協会【申請中】、(一財)エネルギー総合工学研究所(一社)水素供給利用技術協会、(一財)カーボンニュートラル燃料技術センター、(一社)日本ガス協会、燃料電池実用化推進協議会

協賛: (一社)日本膜学会、(公社)化学工学会、(公社)高分子学会、(公社)日本化学会、(一財)ファインセラミックスセンター

3. プログラム

13:00 - 13:05	主催者挨拶	(公財)地球環境産業技術研究機構 理事長 山地 憲治
13:05 - 13:10	共催者挨拶	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 サーキュラーエコノミー部 部長 福永 茂和
13:10 - 13:50	基調講演	「カーボンマネジメントに関する取り組み」(仮題) 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料環境適合利用推進課 CCS 政策室長 慶野 吉則
13:50 - 14:30	招待講演①	「都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた Daigas グループの取り組み」(仮題) 大阪ガス株式会社 執行役員 ガス製造・エンジニアリング事業部 エンジニアリング部長 幡中 宣夫
14:30 - 15:10	招待講演②	「デンソーの CO ₂ 回収・利用の取り組み(仮題)」 株式会社デンソー 環境ニュートラルシステム開発部 CO ₂ システム開発室長 鈴木 雅幸
15:10 - 15:15	ポスター・展示の案内	
15:15 - 16:05	ポスター・展示 @ 多目的ホール	① RITE: 吸収液、固体吸収材、DAC・万博、CCU 無機膜、産業化戦略協議会、炭素回収技術評価センター(実ガス試験センター) ② 次世代型膜モジュール技術研究組合 ③ グローバル CCS インスティテュート(調整中) ④ 産業化戦略協議会会員(調整中) ⑤ GI 基金 CO ₂ 分離・回収等技術開発プロジェクト(NEDO)(調整中)
16:05 - 16:50	活動報告①	「CO ₂ 分離回収・有効利用技術開発の動向と RITE の取り組み」(仮題) (公財)地球環境産業技術研究機構 化学研究グループ グループリーダー 余語 克則
16:50 - 17:05	活動報告②	「大阪・関西万博における DAC を中心としたネガティブエミッション技術の展示」(仮題) (公財)地球環境産業技術研究機構 化学研究グループ サブリーダー 菊池 直樹
17:05 - 17:25	活動報告③	「炭素回収技術評価センター(実ガス試験センター)」(仮題) (公財)地球環境産業技術研究機構 化学研究グループ 主任研究員 後藤 和也
17:25 - 17:30	閉会挨拶	(公財)地球環境産業技術研究機構 専務理事 本庄 孝志

4. 参加登録

参加を希望される方は、下記 RITE ウェブサイトよりお申し込み下さい。

https://www.rite.or.jp/news/events/2024/12/co2_202525.html

5. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前にお申し込み下さいますようお願い致します(やむを得ず当日受付となる場合は、名刺をご持参下さい)。

お問合せ先

○シンポジウムの内容・参加登録に関するお問い合わせ先:

・(公財)地球環境産業技術研究機構 龍治、菰野
TEL:0774-75-2305 E-mail:bunrisympo@rite.or.jp

○本プレス発表に関するお問い合わせ先:

・(公財)地球環境産業技術研究機構
企画調査グループ 広報・産業連携チーム
TEL:0774-75-2301 E-mail:pub_rite@rite.or.jp